

6月定例会では、竹田議員と新井田議員が一般質問を行いました。



竹田 努 議員

問 新幹線のまち 町長が目指すものは何

答 官民一体で「おもてなし」を進める —— 町長

質問 「夢の新幹線」開業に向け、いろいろな整備が順調に進んでいますが、町が生き残るためには、「新幹線のまち」としてこのチャンスを活かすべきだと考えます。

町長は常日頃から、「新幹線が開通した場合、いかに多くの人に乗り降りしていただくか」にすべてがかかっている」と強調しています。受け皿となる木古内町の魅力ある観光や観光交流センターを中心とした広域観光が順調に進められています。多くのかたをお迎えするためのおもてなしの精神はどうでしょうか。

新幹線を降りて、「素敵な町だ、寒中みそぎらしい町だ。」と感じていただけるかが大事な鍵になると思いますが、新幹線開業に伴って何処を目指すのか、町長の考えを尋ね



北海道新幹線の開業に向け工事が進む JR 木古内駅前

ます。

大森町長 新幹線でお越しになるお客様に対する暖かな「おもてなし」等は大変重要であり、平成24年度に策定した「木古内観光アクシヨンプラン」に基づいた取り組みを進めています。

昨年度は、町民の方々と「まち歩き・商店街部会」や「おもてなし部会」を開催し、木古内最大の観光資源である寒中みそぎを核とした、町内回遊方策

の推進や町民の皆様におもてなしの心を広めて行くための「おもてなし3カ条」を制定しています。

町民自らが木古内にあるものを発掘をし、さらに磨き上げると同時に、お出でになるお客様に暖かな心を添えて紹介していただけるようなまちづくりを進めることが重要と考えており、引き続き官民一体となった取り組みを進めていきます。

**人口減で町が消滅？
ビジョンの見直しは**

質問 新聞記事に、

「自治体の危機、将来消滅する可能性の自治体」という一覧が掲載され、町民からも「いまはいけれど、子どもや孫の時代になったらどうなるのか。」という声を耳にします。

町長は、町民に対してどのように安心を伝えるのか。また、町の振興計画等を見直す考えがあるのか尋ねます。

大森町長 住民の皆様には、人口減を最小限に留め住んでいるかたの幸せを考えています。人口減少による交付税の減という影響はありますが、振興計画の「協働」という柱は変えず、実施計画での様々な施策の取り組みやローリングを行いながら、優先順位を見定めて行きたいと考えています。